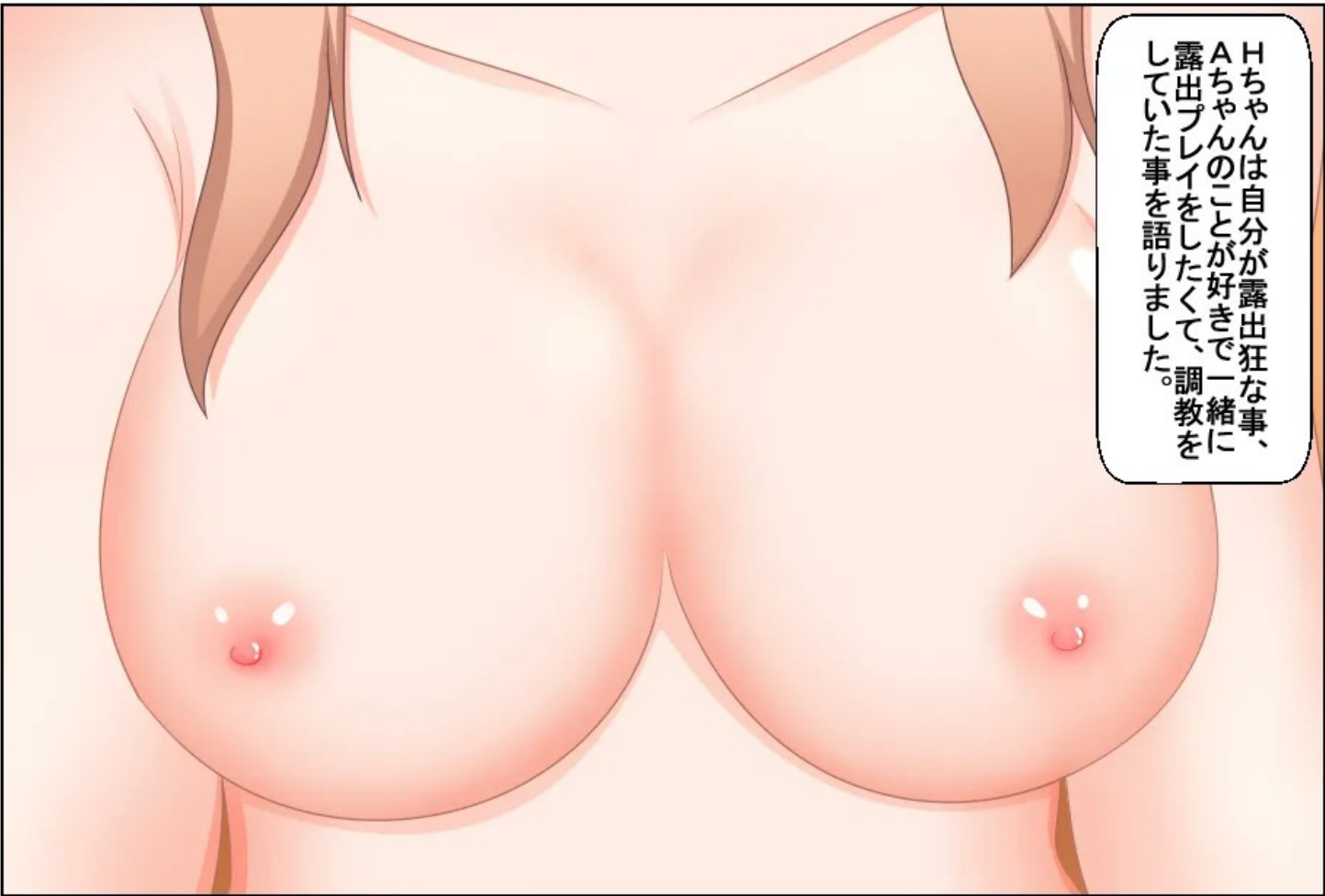




読み聞かせ風
少女体験談
その8





Hちゃんは自分が露出狂な事、
Aちゃんのが好きで一緒に
露出プレイをしたくて、調教を
していた事を語りました。



AちゃんはHちゃんに
「好きです。女の子だけに
付き合ってください。」

「あと露出狂だから
一緒に全裸露出しよう♪」
と言われたようなものです。



この衝撃的な告白に
対してAちゃんは
こう答えました。



A「露出もHちゃんも
大好きだよ♪」

A「調教のおかげで首輪を付けて
全裸で歩くのが好きな変態
になっちゃったんだから
責任とってね。ご主人様♪」



H「それならたくさん
気持ちよくして
あげないとね。」



初めての
2人一緒に露出プレイが
始まりました。

H「すごく硬く
なってるね。」



H「お外で全裸で乳首
いじられて気持ちいい？」

H「こんなどうしようもない
変態さんは私がずっと
調教してあげるね。」



H「うちもすく
濡れてるね。」



H「ほら静かにしないと
気づかれちゃうよ？」

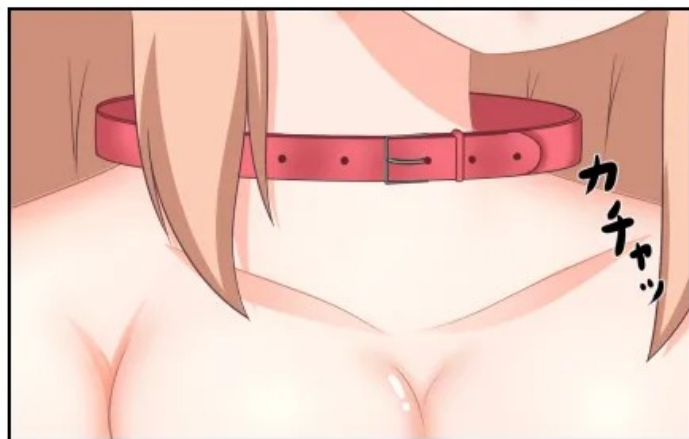
A「見られてもいいよ。
だから手を止めないで。」

A「ちゃんはHちゃん
好みの変態に成長
しました。」











A「おいど。」



A「その格好のまま
連れ回してあげる。」

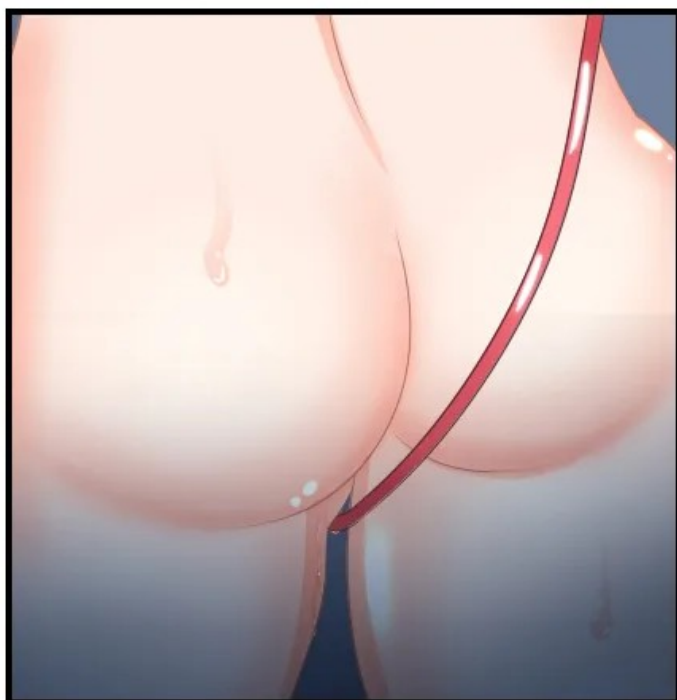
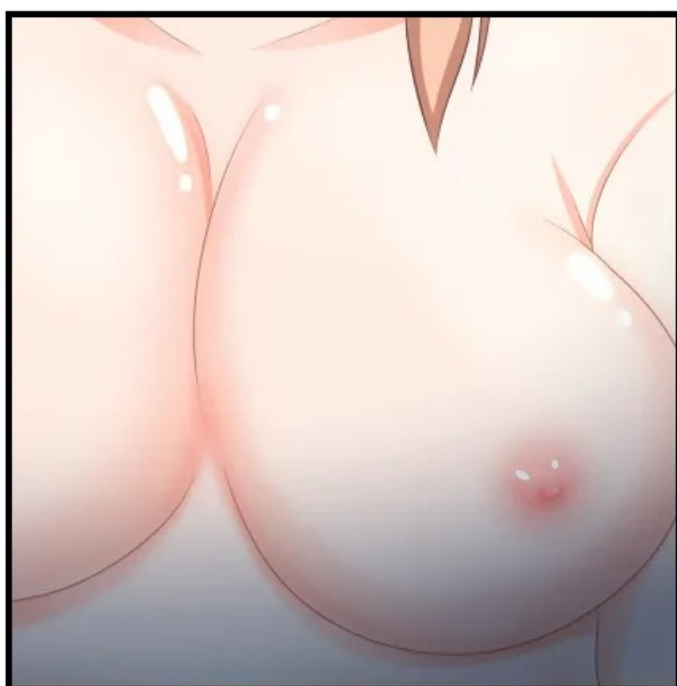


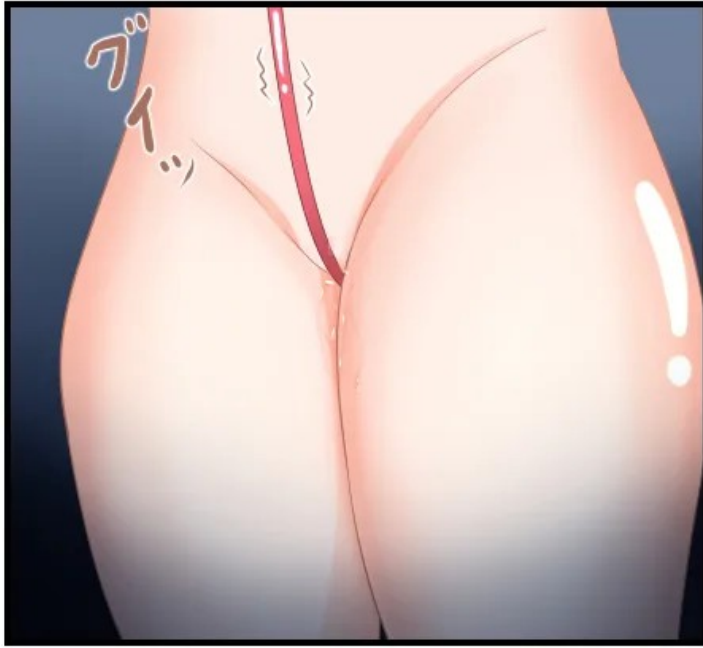
A「今ので終わりのないよね。」

A「犬側やってみたかったんでしょ。」



「わん♪」

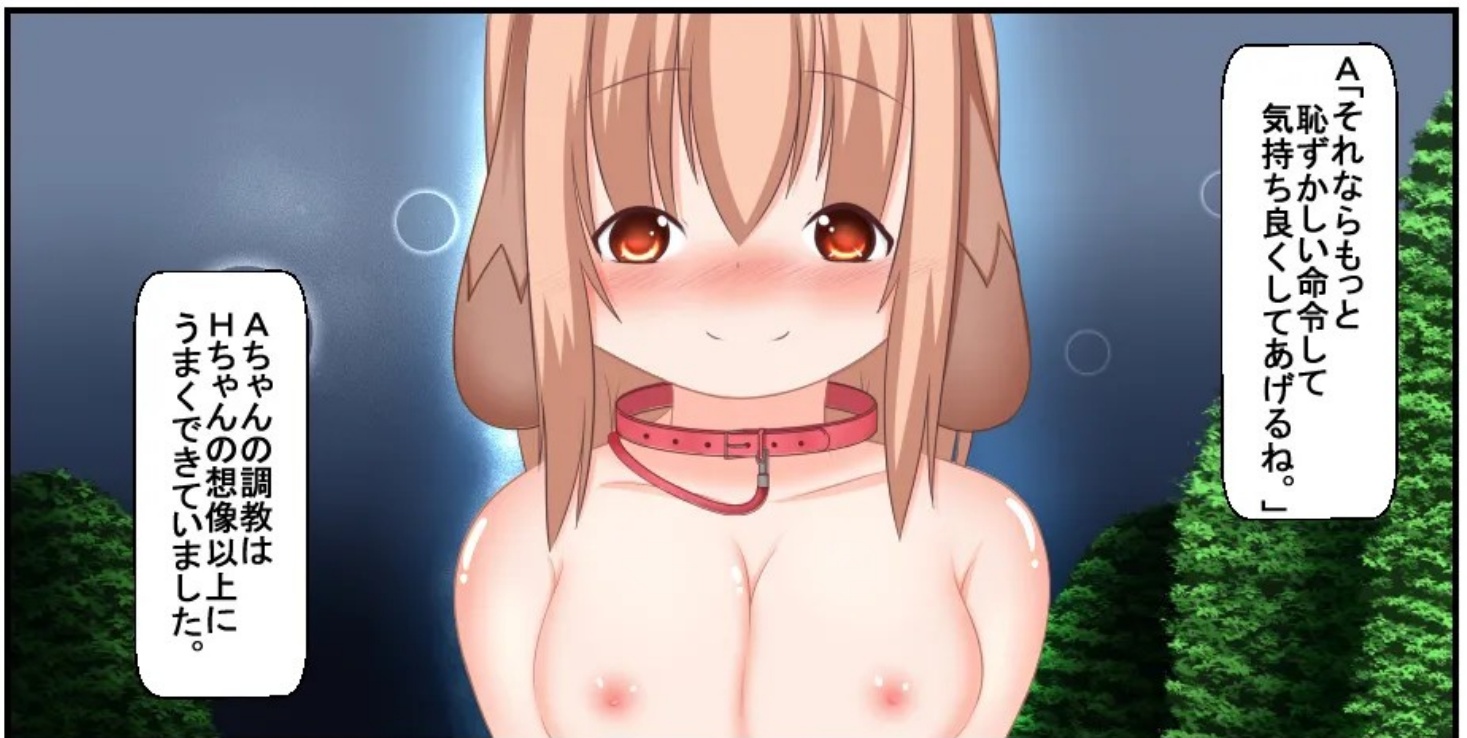




A「こんなのも気持ちいいんですよ？」



E「ほい、ごめい。」



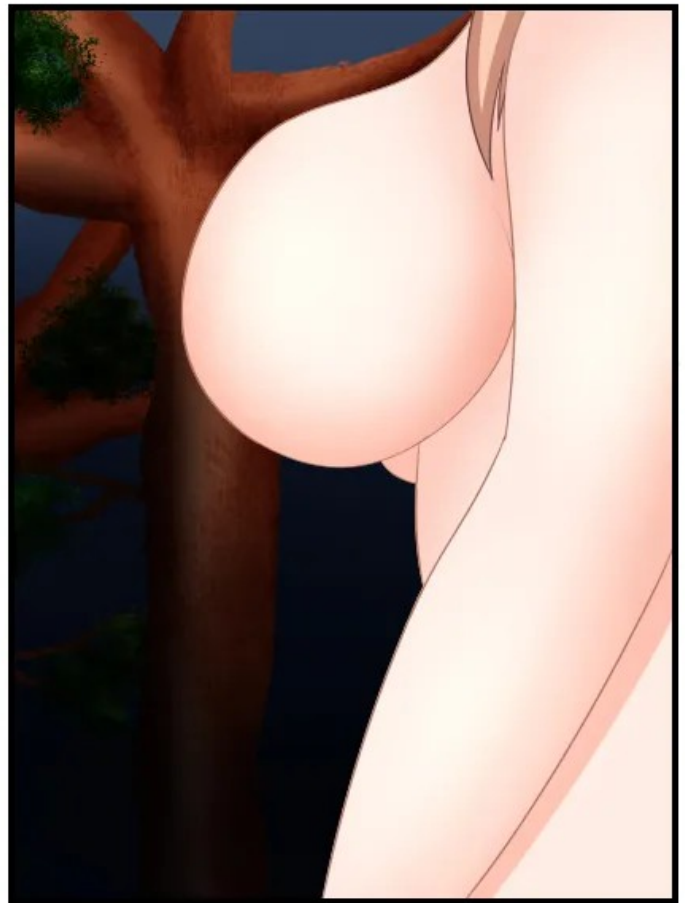
A「それならもっと恥ずかしい命令して気持ち良くしてあげるね。」

A「あちゃんの調教はHちゃんの想像以上にうまくできていました。」

人がいない所では
四つん這いにして
ゆつくり公園を
歩かせました。

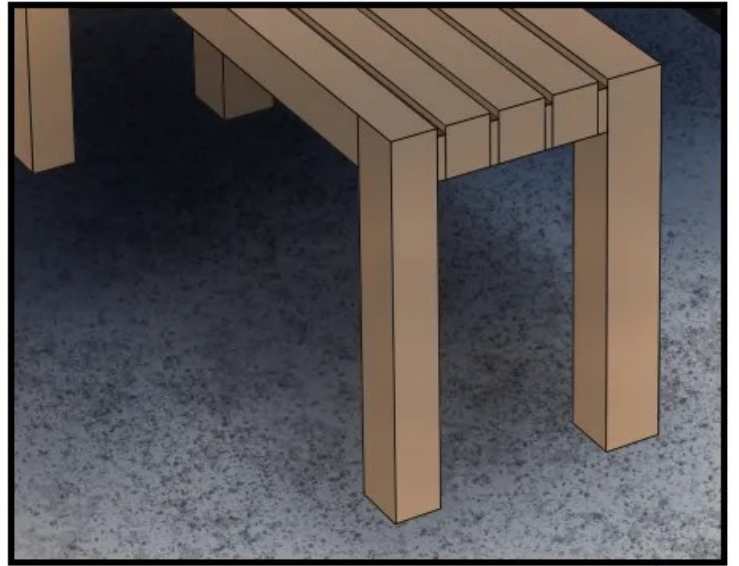
Aちゃんは人が
来たら体を見せる為
二足歩行で歩かせ。

慣れない歩き方で
疲れないように時折
休憩も挟みました。





AちゃんはHちゃんを
ベンチに座るように
促しました。



A「こ」で気持ち良く
なってもらうね」

Aちゃんは犬に
ご褒美を与えました。





H「はいご主人様。」

A「隠しちゃだめだよ。
見られて興奮するんですよ。」



A「ほら自分でやってみて。
みんなが見てくれるよ。」



A「気持ちいい？」

「おっぱい大きい」

「すごい格好」

「露出狂の変態」

多くの視線、自分の格好に
対する恥ずかしい言葉の
中でHちゃんは気持ち良く
オナニーできました。

A「よくできました。
次は何して欲しい？」

A「なんでもいいよ。
頑張った子にはご褒美
をあげないかね。」





A「いいよ。
一緒にやろうね。」



H「なんでもしてくれ
るんですよね？
ご主人様。」



ご主人様の服を
人前で脱がすなんて
いけない子。

ちゃんと舐
めてあげるね♪

気持ち良さそう

今日は二人とも
すっぱんぽんなんだ。

私もあれやりたい♪

この子達
ど変態だな。

二人は自他共に
認める「露出狂カップル」
になりました。

ありがとうございます。
みんなに見られながら
ご主人様の手で気持ちよ
くなれるなんて幸せです。

おまけ

